

# 第 1 回

## さっぽろヒグマ基本計画推進協議会

### 会 議 録

日 時：2023年12月28日(木)13時30分開会

場 所：オンライン形式 (Zoom)

## 1. 開会

### ○坂田課長

それでは定刻となりましたので、令和5年度第1回さっぽろヒグマ基本計画推進協議会を開催させていただきます。

進行を務めさせていただきます。さっぽろヒグマ基本計画推進協議会事務局、環境共生担当課長の坂田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は年末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。まずは開会にあたりまして本協議会の事務局を代表いたしまして環境管理担当部長の西村よりご挨拶を申し上げます。

### ○西村部長

環境管理担当部長の西村でございます。本日は年末のお忙しいところ、さっぽろヒグマ基本計画推進協議会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

本日は北海道大学院農学研究院の愛甲様、北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンターCoSTEPの池田様、酪農学園大学の佐藤様、北海道立総合研究機構の釣賀様、NPO法人北海道市民環境ネットワークの宮本様、NPO法人EnVision環境保全事務所の早稲田様にご参加いただいております。

2023年も残すところあとわずかでございますが、これまでを振り返りますと、ヒグマの市内の出没件数は、直近の10年で最多となり、市街地付近でも目撃が多く、ヒグマと人の距離が近づき、軋轢が増しています。今年3月に策定しました「さっぽろヒグマ基本計画2023」では、「人は街で、ヒグマは森で～すみ分けによる安全・安心な暮らしを目指して～」をビジョンに掲げ、これまでの計画をさらに強化する形で、出没対応はもちろんのこと、人の生活圏へのヒグマの侵入抑制策や、市民の意識醸成の推進に努めていく所存であり、新たな技術や取り組みなどにも積極的に取り入れていく予定としております。本協議会は、基本計画の進行管理と取組実践に向け、様々な立場の方から、札幌市のヒグマ対策について協議いただく場として設置いたしました。

また、現在環境省では、クマ類の指定管理鳥獣指定に向けた検討が行われているところであり、クマ対策の大きな転換点を迎えております。こうした国の動きも踏まえながら、札幌市のヒグマ対策のあり方についても、広くご意見をいただけるような場になればと考えております。

本日は計画の策定から現在までの状況について説明させていただいた後、ヒグマ対策重点エリアにおける具体的な対策を検討するための部会の設置についてご承認をいただきたいと考えております。

限られた時間ではございますが、これからも市民の安全・安心を確保するため札幌市のヒグマ対策がより効果的なものになりますよう、ご協力をお願いしまして、開会の挨拶

挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○坂田課長

では議事に入ります前に本日はオンライン形式での開催となりますので、改めてではございますけれども、3点ほど発言のルールを設けさせていただきたいと思います。

ルールの一つ目、ご発言時以外は常時マイクをオフにしておいてください。

二つ目、ご発言いただく際は挙手又はボタンでお知らせ願います。

三つ目、ご発言の際には、議事録作成の都合上お手数ではございますけれども先にお名前を名乗ってからご発言願います。

ではここで委員及び事務局の紹介をさせていただきます。

まずは委員のご紹介です。

私から五十音順にお名前を申し上げますので、恐れ入りますが一言ずつご挨拶をお願い申し上げます。

まずは北海道大学大学院農学研究院准教授の愛甲委員でございます。

○愛甲委員

愛甲です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続きまして北海道大学大学院教育推進機構講師の池田委員でございます。

○池田委員

池田です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続きまして酪農学園大学、農食環境学群環境共生学類教授の佐藤委員でございます。

○佐藤委員

佐藤です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続きまして北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所自然環境部長の釣賀委員でございます。

○釣賀委員

釣賀です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続きましてNPO法人北海道市民環境ネットワークの宮本委員でございます。

○宮本委員

宮本です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続きましてNPO法人EnVision環境保全事務所の早稲田委員でございます。

○早稲田委員

早稲田です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

以上が委員の皆様でございます。続きまして、事務局側の紹介をさせていただきます。  
まずは先ほどご挨拶申し上げました環境管理担当部長の西村でございます。

○西村部長

西村です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

続いて環境共生担当課調整担当課長の白水でございます。

○白水課長

白水です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

環境共生担当課熊対策調整担当係長の清尾でございます。

○清尾係長

清尾です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

同じく熊対策調整担当係長の大堀でございます。

○大堀係長

大堀です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

それから環境共生係の大熊でございます。

○大熊係員

大熊です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

同じく環境共生係の南雲でございます。

○南雲係員

南雲です。よろしくお願いいたします。

○坂田課長

改めまして、環境共生担当課長の坂田でございます。以上が事務局のメンバーとなりますので、よろしくお願いいたします。

ではまず初めにお配りした資料のご確認をお願いいたします。本日の配布資料につきましては全部で4点ございます。順番に次第、委員名簿、第1回協議会資料、さっぽろヒグマ基本計画推進協議会設置要綱となります。

資料に不足や不備がございましたらお知らせください。

**【不足なし】**

○坂田課長

なお本来でございましたらここで委嘱状をお渡しするところでございますが、本日はオンライン開催ということもございますので、郵送等で代えさせていただきますこと、ご了承ください。

## 2. 議事

### ○坂田課長

では、お配りした次第に沿って進めてまいります。次第の3、協議会会長及び副会長の選任でございます。お配りした資料のさっぽろヒグマ基本計画推進協議会設置要綱をご覧ください。要綱第6条第2項の規定では、協議会には委員の互選により会長及び副会長を置くこととしております。

まず、協議会会長を推薦により選任したいと思います。会長につきまして、ご推薦のある方がいらっしゃいましたら、挙手又はボタンでお知らせの上、ご発言をお願いいたします。

【意見なし】

### ○坂田課長

特にご意見がなければ事務局にて案を提示させていただきますがよろしいでしょうか？

【異議なし】

### ○坂田課長

それでは事務局案といたしまして、現計画の検討委員会でも委員長を務めていただきました。北海道立総合研究機構の釣賀委員にお願いしたいと存じますがいかがでしょうか？

【異議なし】

### ○坂田課長

ありがとうございます。ご異議がないようですので釣賀委員に会長をお引き受けいただきたいと存じます。それでは釣賀会長に一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

### ○釣賀会長

北海道立総合研究機構の釣賀です。前回の改定委員会に続いて大役を仰せつかることになりましたが、皆様のご協力を得て進めていければと思いますのでよろしくお願い

します。計画改定委員会では、よく練られた内容の計画が出来上がったと思っておりますが、計画を作ること自体が目的ではなく、これから進めていくところが非常に大事だと思っておりますので、皆さまご協力のほどよろしくお願い致します。

○坂田課長

ありがとうございました。次に協議会副会長を推薦により選任したいと思います。副会長につきましてご推薦のある方がいらっしゃいましたら挙手又はボタンでお知らせの上ご発言をお願いいたします。

【意見なし】

○坂田課長

特にご意見がないようですので、こちらにつきましても事務局にて案を提示させていただきますがよろしいでしょうか？

【異議なし】

○坂田課長

では事務局案といたしましては同じく現計画の検討委員会で副委員長を務めていただきました、酪農学園大学の佐藤委員にお願いしたいと存じますがいかがでしょうか？

【異議なし】

○坂田課長

ご異議がないようですので、佐藤委員に副会長をお引き受けいただきたいと存じます。それでは佐藤副会長にご挨拶をお願いしたいと存じます。

○佐藤副会長

酪農学園大学の佐藤です。よろしくお願い致します。会長をサポートしながら、現行計画の適切な推進のための議論をしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

○坂田課長

ありがとうございました。では引き続きまして次第4の議事に入らせていただきたいと存じます。議事の進行につきましては、釣賀会長にお願いしたいと思います。釣賀会長よろしくお願い致します。

○釣賀会長

それでは、議事を進めさせていただきたいと思っております。早速ですが、次第4の議事、令和5年度のヒグマ出没状況について事務局から説明をお願いします。

○清尾係長

事務局の清尾です。まず資料 1-1、令和 5 年度のヒグマ出没状況について、でございます。

左側の地図ですが、計画で定めましたゾーニング図の上に、今年度の出没情報をプロットしております。今年度の出没状況につきましては、件数としましては、227 件が今日時点（12/28）の件数になっております。

右側移りまして、ヒグマ出没状況別をご覧いただきたいのですが、今年度 227 件のうち 156 件が南区となっております、これまでの傾向と同じく南区が最も件数が多くなっております。また 227 件という数字につきましても、近年出没が多かった年に比べましても、多い年であり、過去 10 年で最も多い件数となっております。

続きまして右側の円グラフ、ゾーン別のヒグマ出没状況でございます。今年度 227 件のうち、市街地ゾーンにつきましては 26 件で全体の 11%、市街地周辺ゾーンにつきましては 94 件で全体の 41%を占めておりまして、市街地ゾーンと市街地周辺ゾーンを合わせまして、半分以上の出没を占めております。新たに計画で示しました都市近郊林ゾーンにつきましては 33 件ということで、全体の 15%がこのゾーンでの出没になっております。

続きまして月別のヒグマ出没状況に移ります。今年度の一つの特徴としまして、6 月に 61 件の出没があり、突出して多くなっております。その後も平均して 20 件前後の出没がありますが、例年、出没が収まってくる 10 月、11 月になりましても、30 件程度の出没がありまして、12 月については少し出没が落ち着いてきておりますが、秋にかけても出没が多かった傾向でございます。

続きまして一番下の部分、ヒグマの捕獲数ですが、今年度につきましては 3 頭捕獲しておりまして、近年、1 頭ずつの捕獲でありましたが、今年については平成 23 年度と同様の 3 頭となっております。内訳としましては、4 月に南区白川でオス 1 頭、7 月に南区北ノ沢でメス 1 頭、9 月に南区南沢でメス 1 頭を捕獲しております。

次に資料 1-2 に移らせていただきます。出没状況につきまして、地域別に見てみますと、まず西区につきまして、地図で示したような出没状況となっております。グラフで見ると、今年度西区については 34 件の出没がありましたが、過去 10 年で見ますと西区についても最も多い状況となっております。西区の地域別で見ると、西野地区で 16 件の 47%で半分ほどを占めておりまして、続いて福井、山の手、小別沢と続いております。月別で見ると、4 月から 8 月にかけて、①の西野地区左側の地図において、赤い丸で囲った部分になりますが、このエリアで出没が相次いでございました。

続きまして、秋になりますと、山の手・福井・西野地区にかけて、同一個体と思われる親子が、この辺りを繰り返し出没し、また、街中を縦断、横断するような出没も目立ちました。写真①で示したのは 5 月に西野地区で確認された親子の写真、写真②につきましては、10 月に山手地区で確認された親子の写真となっております。これら親子については別個体である可能性が高いと考えておりまして、複数頭の親子がこのエリア

に生息していることから、令和6年度以降も引き続き警戒すべき地域として考えております。

続きまして、南区の藻岩山周辺の出没状況です。こちらにつきましては、今年度39件の出没がございました。こちらも過去10年で見ると最も多く、近年このあたりの出没が徐々に増えているような傾向が見てとれます。月別で見ますと、6月、7月が特に件数が多くなっておりますが、このうち北ノ沢で、皆さんご承知のことかと思いますが、親子の出没が目立っておりましたが、この辺りで特に出没が多くなっておりまして、それに連動した形になっております。この親子の親グマにつきましては7月に捕獲しておりますので、以降の出没は少し落ち着いた形になっておりますが、それでも9月、10月、11月と数件の出没が続いておりますので、引き続きこのエリアについても注意が必要になります。また、写真にもお示ししていますが、北ノ沢の他にも南沢でも捕獲がありましたので、この他にも生息しているヒグマがまだいると思われるので、警戒をしていく必要があると考えております。

以上資料1についてのご説明でした。

○釣賀会長

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして委員の皆さんの方からご質問等ございますか？

愛甲委員よろしく申し上げます。

○愛甲委員

ありがとうございました。今年出没がかなり多かったということですが、これは北海道全体でも出没が多かったとは思いますが、何か札幌市特有の原因があるのか、今の時点ではまだ分析中かもしれないですけども、どのような分析をされてるのか、全道的に出没が多いのと同じような理由なのか、それとも何か札幌市特有の原因があったのかということをもまず一つと、もう一つは、北海道の計画でも、行っているようなヒグマの行動段階の分類等は札幌市でも行っているのでしょうか？

○釣賀会長

ありがとうございます。事務局の方からご回答お願いできますでしょうか？

○清尾係長

まず1点目、札幌市の今年の出没の傾向についてですが、ご説明した資料の中でもありましたが、今年は特に親子の出没が多かったように感じております。西区もそうですし、北ノ沢でも、親1頭、子3頭の組み合わせで出没が相次いでおりましたし、南区の藤野、簾舞地区の方でも親子の出没があり、親子の出没が複数のペアがあちこちで起こっていたような印象があります。

あとは10月、11月にもまだ出没が止まらずに出没が続いたというようなご説明示しましたが、全道的も同様の傾向があったと考えられ、ドングリなどの実りが悪かったということもあり、秋になっても街中に出没するような傾向が続いたというようなことも特



徴になるかと思えます。

それから2点目のところでヒグマの行動段階の判断をどうしているかということですが、基本は計画で示しております、有害性判断ということで、北海道でいう段階判断になりますが、そちらについては出沒した個体については常にどのレベルに該当するのかというところを、現場で判断しましてその都度対応するようにしております。

○愛甲委員

では有害性判断をされた個体の記録は取ってらっしゃるということですね？

○清尾係長

基本は最初に出てくるものについてはレベル1判断ですが、レベルを引き上げたのがどのタイミングかというのは記録しております。

○愛甲委員

わかりました。その傾向は何か今年の特徴があったのでしょうか？

○清尾係長

同じ個体が繰り返し出沒しているというところもありましたので、その個体についてはレベル1からレベル2に引き上げるというような判断はありました。今年はレベルを判断するというのが比較的多かったという印象はあります。

○愛甲委員

ありがとうございます。

○釣賀会長

よろしいでしょうか？他の委員の皆さんからご質問等ございますか。

#### 【質問意見なし】

○釣賀会長

それではただいまの議事につきましては以上といたしまして、続いてはヒグマ対策重点エリアでの取り組み方針について事務局の方からご説明をお願いします。

○清尾係長

私から資料2についてご説明させていただきます。ヒグマ対策重点エリアでの取組方針についてですが、まず、計画の中でヒグマ対策重点エリアというのをどのように設定したかというところのお話からさせていただきます。

ヒグマ対策重点エリアにつきましては、計画に掲載している地域としまして、対象地区としては西区の福井・山の手・小別沢地区、中央区の宮の森・宮ヶ丘・円山・円山西町・双子山・界川・旭ヶ丘・伏見・盤溪地区、南区の藻岩山・藻岩下・北ノ沢・中ノ沢地区ということで設定しております。エリア内の主な施設につきましては、大倉山ジャンプ競技場や、旭山記念公園、スキー場や藻岩山の展望台、また円山動物園、北海道神宮なども含んでおります。このエリアは三角山、円山、藻岩山などには登山道や自然歩

道などがあり、小中学校他各種学校も多数存在するような地域になります。地図の真ん中に白い点線で示していますが、現行の計画で設定しているヒグマ対策重点エリアになります。

この重点エリアにつきまして過去10年でどれくらい出沒があったかというところで集計しておりますのが、円グラフになりまして、過去10年で全1190件のうち260件、約22%を重点エリアの出沒が占めていることがわかっています。今年度分につきましては現在精査中ですので、後日お示ししたいと思います。

この重点エリアの位置づけにつきましては、ゾーニングに関わらず、ヒグマの定着を抑制すべき場所で進入抑制策を徹底し、ヒグマにとって居心地の悪い環境を作り、エリア内のヒグマの密度を下げる、付近住民や登山利用者などへの普及啓発を重点的に実施するというような位置付けで設置したエリアになります。

今年の取り組みとしまして、ヒグマ対策重点エリアの調査業務を行っております。期間は10月から来年の3月末まで、業務内容は、過去の出沒情報の分析や、関係施設の抽出、他には生息状況調査のためのヘアトラップ候補地の選定、ドローンによる生息状況調査などを行っております。

写真でお示ししますが、12月の上旬に行ったドローン調査の様子です。これらの調査等から、進入抑制策、捕獲、普及啓発、調査（モニタリング）のそれぞれの項目に関しまして具体的方策を検討していくことになります。

検討に当たりましては、有識者からの意見も取り入れていきたいと考えており、協議会内に部会を立ち上げて、協議会委員の一部の方に具体的な方策についてご意見をいただきたいと思っております。また、部会にはヒグマは出沒したときに出動いただいております、猟友会の方にも委員として入っていただきたいと考えております。部会の協議結果と、これらを踏まえた方策案につきましては、協議会の本会の方に提示させていただいて、必要に応じて、協議会で助言、協力をいただくというような形で進めていきたいと思っております。

3番目の部会についてですが、部会の委員としまして、ヒグマの専門家である釣賀会長と佐藤副会長、それから公園について詳しい愛甲委員と札幌市のヒグマ防除隊として活動いただいている猟友会の方に臨時委員として入っていただく形を考えております。会議スケジュールについては、年度内に2回程度開催しまして、その結果を事務局で取りまとめる方向で考えております。また、個人情報と具体的な内容を含むため、会議そのものは非公開としたいと考えております。その結果をまとめまして次回協議会でご報告するような形を考えております。この部会について皆さんにご意見をいただいて立ち上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### ○釣賀会長

ただいまご説明いただいた内容につきまして、まずご質問等ございますか？事務局の方からこの部会についてのご意見も皆さんから募りたいというお話でしたが、

そちらについてはいかがでしょうか？

まず部会を立ち上げるということと、臨時委員として猟友会の方に参画していただき委員の皆さんにも入っていただくということも含めたところのご意見ということになると思いますが、いかがでしょうか？

### 【質問意見なし】

#### ○釣賀会長

そうしましたら、事務局の案の通りに進めていただければと思います。次第4番、議事についてこれで終了いたしましたので、以降の進行については事務局にお返ししたいと思います。

### 3. 閉会

#### ○坂田課長

釣賀会長どうもありがとうございました。では、事務局から次第5番、連絡事項をお伝えいたします。

先ほどの資料2でもお話ありましたが、次回の協議会については来春頃を予定しております。開催日時につきましては別途調整させていただきたいと思いますので、事務局からまたご連絡を差し上げることといたしますのでお待ちください。連絡事項は以上になります。

今後とも皆様のご協力のもと市民の安全確保を最優先にヒグマ市街地進入抑制策の強化と出没時の対応をしてみたいと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

最後に全体を通して皆様から何かご質問ご意見等ございませんでしょうか？佐藤副会長お願いします。

#### ○佐藤副会長

愛甲委員からの質問にもありましたとおり、今年クマに関する問題が全国的にも話題になっていましたが、札幌市については、全国的な大量出没のように、エサ不足によって市街地の中に入ってきて何かを食べているというようなものではなくて、市街地周辺の森でクルミなどを食べている程度だったのかなと思います。特定の親子や単独の若い個体が繰り返し目撃されており、それは主に人慣れによる無警戒というような状態があったらろうと思います。

議事の二つ目にもありましたが、やはりヒグマ対策重点エリアでそのような状況を受けてどのように対策していくかというのを考えていくことが重要だと思いますので、部

会の中で具体的な方向性が議論されることを期待したいと思います。

○坂田課長

その他皆さんから、ご意見等ございますか？

【質問意見なし】

○坂田課長

以上をもちまして令和5年度第1回さっぽろヒグマ基本計画推進協議会を終了させていただきます、配信を終了いたします。どうもありがとうございました。

以 上